

## LEQ 集団活動プログラム《カラフルフラッグ》

タイトル	カラフルフラッグ
大ジャンル：	ゲーム
中ジャンル：	レクリエーション
小ジャンル：	瞬間トレーニング
使う道具：	赤・青・黄の旗（一人2本ずつ6本/3セット）・PC（スクラッチ：カラフルフラッグ）
場所	室内
人数	1-3
内容	PC画面に表示された旗と同じ旗を上げる瞬発力や集中力の向上を図るプログラム

### 5 領域

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
○	○	○	○	○

### 【 流れ（20分） 】

時間	内容	児童の予想される行動	支援員の動き
00:00	<p>活動の挨拶 挨拶時は正座 「今から活動を始めます。礼。」</p> <p>活動内容とルール説明</p> <p>カラフルフラッグルール 旗をスクリーンに映された通りに並べる 「赤・黄・青・青・黄・赤」の順 画面にそれぞれ色の旗が表示されるので同じ色の旗を手を持ち挙げる。</p>	<p>挨拶時に正座ができていますか。</p> <p>説明中の姿勢の維持ができていますか。 私語をしていないか。</p> <p>旗であそんでいないか</p>	<p>挨拶時は正座をしてもらうように声を掛ける</p> <p>座る体勢の維持と私語をしないように声を掛ける</p> <p>旗は始まるまでさわらない。またチーム分けをしている場合は旗の位置に座るのは順番が来て呼ばれてから座るように声を掛ける。</p>
05:00	<p>チーム分けを行う。 1グループで行う三人は同学年、同程度のスキルの児童になるようにチーム分けをする</p>	<p>待っている児童が待つことができているか</p>	<p>後ろで待っている児童派には行っている児童の様子を見るように声を掛ける</p>

	まずは練習のため1グループ3回ずつ行う。	後ろで立ったり、私語をしたりしていないか	
08:00	本番 1グループで10回前後を目安に行う。  1周目ではある程度簡単な難易度での行うようにする 2周目になった際に1周目の様子を見てグループごとに難易度を調整する。	間違ってしまい、泣いたり崩れてしまう児童がいることがある。  待っている児童が私語をしたり、席を立ててウロウロしたりしていることはないか	失敗してもまだ次があることを伝えたり気持ちを切り替えられるような声掛けをおこなう。  後ろで待っている児童には前で行っている児童を見るように声を掛ける
17:00	結果発表・感想・まとめ チーム戦など行っていた場合結果発表がある場合には結果発表を行う。  行ってみての感想を聞く。 総評やまとめをスタッフから伝える。	結果発表時に負けたことが悔しくて泣いてしまう。  話をしている児童やスタッフの話を聞かずに他の児童と私語をしたり手遊びをしていないか	勝ち負けが全てではないことを伝えたりまた次に挑戦できる機会があることを伝えて気持ち
20:00	活動終了の挨拶 挨拶時は正座 「これで活動を終わります。礼。」 後片付け	挨拶時は正座をしているか。	正座をしていない場合は正座をするように声掛けをする。

### 【実施のポイント】

・チーム分け同じグループで同年代または同じくらいのスキルの児童になるように調整する。  
→旗揚げの難易度を年齢やスキルによって調整しやすくする。低学年の児童には画面を見て確実に同じ旗を挙げられるように、また高学年の児童には瞬発力の向上を目指して少し難易度を高く設定しやすくするため。

・児童の興味関心を高められるような声かけをする。  
→活動へのモチベーションの維持を行えるようにする。

### 【アレンジパターン】

**1、ペアでのチャレンジ**  
旗の左右をそれぞれ一人ずつ持ち二人で画面を見ながら旗を挙げる

**2、個人戦**  
人数が少ない場合一人ずつ行い段々難易度を挙げていき何回連続で成功できるかにと挑戦してみる

### 3, チーム戦

チームに別れてできた一人十回挑戦してチームメンバーで合計で何回成功できたかをカウントする。(チームメンバーの成功回数は他のチームメンバーが数える)